

第48回 Kyoto 演劇フェスティバル

公募公演 参加団体 募集要項

申込締切 9月18日(金)※必着

2027年2月11日(祝)⇒14日(日) 京都府立文化芸術会館



募集説明会

【要:事前申込】

8月8日(土) 18時～

京都府立
文化芸術会館ホール

「出会い」と「交流」を 目指す、全国有数の 演劇祭！

Kyoto演劇フェスティバル(演フェス)は、京都府内の劇団・人形劇団など、表現活動を行っている団体や個人を対象に、日頃の活動成果を競い合う研さん・技術向上の場として、そして府民に対して質の高い文化活動を奨励、振興する地域密着型の演劇祭として昭和54年より休むことなく開催し続けてまいりました。



第47回 特別企画
創作音楽劇「緑の服のクマ男」より

また、全国に先がけて府民参加型の合同創作劇や朗読劇、短編連続上演などの非常に多彩な特別プログラムを行うなど、「子どもから大人まで楽しめるフェスティバル」として地域に定着し、公立ホールが企画・運営を行う演劇祭として全国有数の開催回数を誇り注目を集めています。

また、このフェスティバル(公募公演)の特徴として、上演機会の提供のみにとどまらず、稽古場への指導者派遣などのアウトリーチ事業のほか、他の参加団体の上演を鑑賞する機会を設け、積極的に推奨するなど、様々な関連企画をご用意し、更なる盛り上がりを目指します！

公募公演プログラム について

関西全域から集った団体が、日頃の活動成果を披露する演フェスの屋台骨を支える代表プログラムです。

子どもから大人まで、幅広い世代で楽しめる人形劇から、涙なしでは観られない感動巨編まで、オリジナリティ溢れるバラエティ豊かな作品を広く募ります！

演劇・人形劇・朗読劇・舞踊劇など、演劇的表現を有する舞台作品であれば、ジャンルを問わずお申し込みいただけます。

(同日に複数の公演を行うことにより、当日ご来場の観客の皆さまが、お目当ての公演以外にもジャンルの異なる様々な公演を鑑賞する事ができるのも当プログラムの特徴です。)

また、ホール公演の休憩中(転換中)も客席内もしくはロビーにて幕間パフォーマンスを行うなど、開場からその日の最後の公演が終わるまで、飽きることなくお楽しみいただく事を目指したプログラムです。

お問合せ お申込み

「Kyoto演劇フェスティバル」事務局

602-0858 京都市上京区河原町通広小路下ル 京都府立文化芸術会館内
TEL 075-222-1046 E-MAIL kaikan@bungei.jp



大好評の幕間パフォーマンス

第48回Kyoto演劇フェスティバル開催スケジュール(予定)

2月	10日 [水]	11日 [祝・木]	12日 [金]	13日 [土]	14日 [日]			
		公演日		公演日				
	ホール 和室	ホール 和室	ホール 和室	ホール 和室	ホール 和室			
午前		ホール公演② 搬入・仕込み リハーサル ホール公演① 搬入・仕込み リハーサル	リハーサル 和室公演① 和室公演①		ホール公演⑤ 搬入・仕込み リハーサル ホール公演④ 搬入・仕込み リハーサル	リハーサル 和室公演② 和室公演②	ホール公演⑧ 搬入・仕込み リハーサル ホール公演⑦ 搬入・仕込み リハーサル	リハーサル 和室公演③ 和室公演③
午後		ホール公演① 休憩(転換) ホール公演② 休憩(転換) ホール公演③			ホール公演④ 休憩(転換) ホール公演⑤ 休憩(転換) ホール公演⑥	和室公演② 搬入・仕込み 和室公演③	ホール公演⑦ 休憩(転換) ホール公演⑧ 休憩(転換) ホール公演⑨	
夜間	ホール公演③ 搬入・仕込み リハーサル	和室公演① 搬入・仕込み	和室公演② 搬入・仕込み	和室公演③ 搬入・仕込み				

公募公演 募集要項

会 場	京都府立文化芸術会館 ホール(定員 419名)／三階和室(定員 60名)
参加資格	参加団体は、関西に活動の本拠を置き、継続的に活動している団体(学校内の団体も含む)とします。 ただし、実行委員会が推薦された団体が参加する場合があります。
参加作品について	開催部門 【児童青少年部門】・・・小学生から高校生までの鑑賞を主な対象とした作品。 【一般部門】・・・高校生から一般成人の鑑賞を主な対象とした作品。 ●両部門共に参加作品のテーマは自由ですが、創作作品を奨励すると共に、演劇・人形劇を初めて観る人達にも「演劇って、やっぱりオモシロイ」と感じてもらえる作品を奨励します。 また、既成の作品の場合は原作者あるいは翻訳者の上演許可を得てください。 ●上演時間については60分以内(仕込時間を除く)の作品とします。
経費負担	【主催者が負担】 会場使用料、付属設備使用料、※舞台・照明・音響の人件費(ホールのみ／和室につきましては設営・調整・操作等は参加団体各自で対応)。共通リーフレット、チケット等作成費。 【上演団体が負担】 下記の参加費ならびに舞台装置製作費、出演料、交通費、特殊設備使用料、音楽著作物等の上演に関する著作権料、稽古に要する費用、その他、主催者が負担する経費以外の一切の経費。 ■参加費(共通) ホール 20,000円[公演チケット150枚をお渡しします] 三階和室 10,000円[公演チケット 50枚をお渡しします] 上記のチケット配布枚数を越える分につきましては(1回券)1枚400円での販売となります(10枚単位でのお申込)。 入場料については下記のとおり予定しています。※ホールは「1日券」とし、その日のホール公演を全て鑑賞できます。和室は「1回券」とし、該当する公演のみ鑑賞できます(追加料金で同日のホール公演鑑賞可)。 一般:前売1,200円(当日1,500円) 高校生以下:600円(当日800円) ※未就学児無料 ほか、ホール通し券を設定予定。
そ の 他	●応募団体が募集数をこえた場合、また開催趣旨に沿わない内容が含まれている場合は、速やかに選考委員会を実行委員会内に設置し、申込書と添付資料を元に選考を行い、参加団体を決定いたします。 ●各団体の上演日時、参加申込書に記載の可能日を元に、フェスティバル全体の構成を考慮し、実行委員会にて決定します。

舞台創造アシスト事業(より良い作品づくりをサポートするための取り組み)

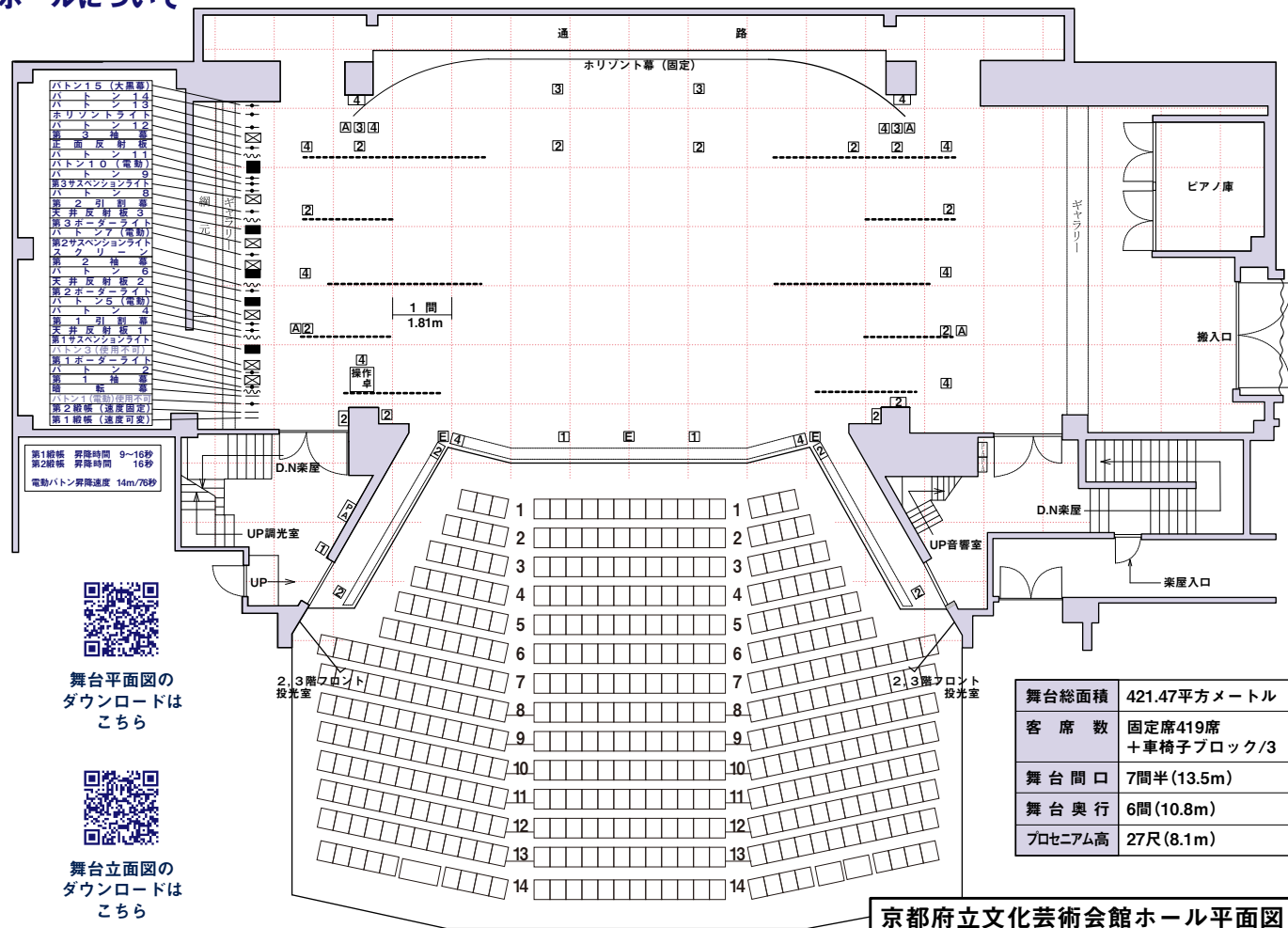
演フェスでは、希望のあった団体に対して有識者を派遣して舞台創造全般をサポートする「舞台創造アシスト事業」を実施しております。

参加が決定した後、早い段階から演フェス実行委員会(＋有識者)が様々な形で団体の創造活動に「じっくり」と関わっていき、一緒により良い作品づくりを考え、それを舞台公演に繋げていく機会となることを願っています。詳細は参加決定後にご説明させていただきます。

主なサポート内容

- 脚本指導や演出プランの指導。
- 実際の舞台を使つての稽古機会の提供と、その際に表現指導や演出指導。
- その他、各種プランの協力など

ホールについて



最後列にいても、舞台上で演じる者の息遣いが伝わる。また演じる側には、客席の反応がダイレクトに跳ね返ってくる、客席と舞台が一体感を持つホールです。

約400人というキャバを持ちながら、舞台面積と客席面積がほぼ同じ、というまれに見る構造だからこそ、その感覚が味わえます。



ホール全景



客席から舞台



舞台から客席



ホールロビー(上段)



ホールロビー(下段)

実行委員会

第48回 Kyoto 演劇フェスティバルは下記のメンバーにより企画・運営が行われています。

委員長	梶平 淳	(大阪工業大学教授・京都府立文化芸術会館シアターアドバイザー)
委員	岡田 尚文	(創造集団アノニム)
	高杉 征司	(演出家・劇作家・俳優／フリー)
	田辺 剛	(劇作家・演出家／下鴨車窓)
	中田 達幸	(俳優・演出家／遊劇体)
	荘司 麻子	(人形劇団京芸)
	森井 有子	(京都児童青少年演劇協会)
	河合 千重	(京都人形劇センター)
	中むら 昌タカ	()
	松村 明日香	(京都府 文化生活部 文化芸術課 課長)
	山本 範子	(京都府立文化芸術会館 館長)

京都府立文化芸術会館

〒602-0858

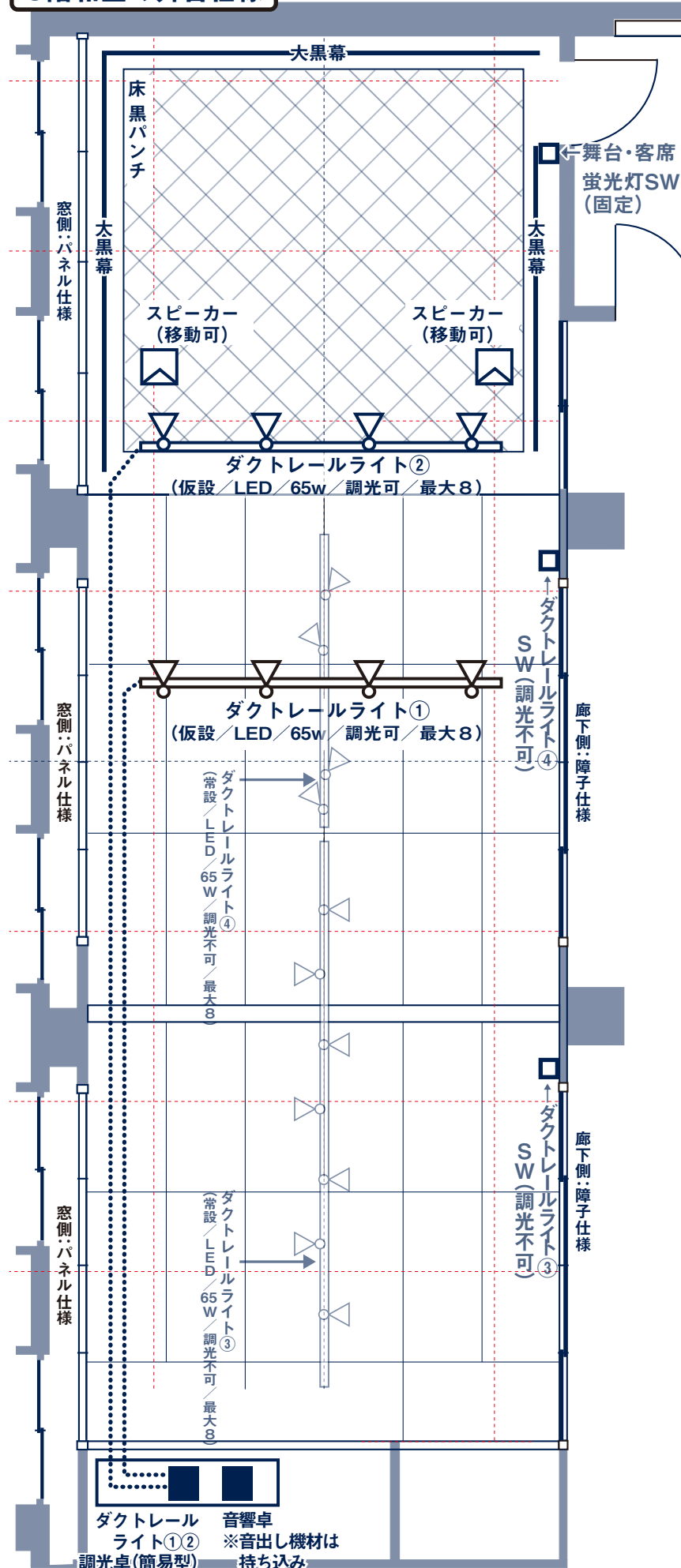
京都市上京区河原町通広小路下ル

☎075-222-1046 (受付時間 9時~18時) [公式HP] <http://www.bungei.jp/>



- 【JR京都駅から】市バス4系統・7系統・205系統
【四条河原町から】市バス3系統・4系統・7系統・205系統
【三条京阪から】市バス37系統・59系統
※いずれも「府立医大病院前」バス停下車スグ前
- 京阪電車／「出町柳」駅もしくは「神宮丸太町」駅から徒歩約12分
※駐車スペース(有料170円/30分)に限りがございますので公共交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。

3階和室の舞台仕様



舞台について

- 通常の三階和室の公演利用で用いられている備品+αについては使用可(要相談)。セッティングについては参加団体が行ってください。
- 暗転は可能。
- スクリーン(仮設)有り。ただしプロジェクター等の映写装置は参加団体が用意してください。

照明について (参加団体で人員手配要)

- 左記の常設機材での対応をメインにお考えください。セッティングや操作については参加団体が行ってください。
- 照明機材の持ち込みはできません。
ただしクリップライト程度の軽微な機材の持ち込みは予めご相談ください。
- 照明スタンドの設置はできません。

音響について（参加団体で人員手配要）

- CD等の音出し機材は参加団体をご用意してください。
- 人形劇等でフットSWを用いて舞台中で音出しをする場合、音響卓までのケーブルの引き回しが難しい場合は全て持ち込みで舞台内で完結するよう、対応をお願いする場合があります。

和室について



間口(W) 5.0m
奥行き(D) 15.0m(うち敷舞台5.0m)
天井高(H) 2.5m(敷舞台3.0m)
床面積 75.0m²(畳部分のみ)

3階和室は、床面積75m²・60名定員という
広さを生かし、個展などの展示室使用や、
敷舞台を利用した落語・舞踊・狂言・邦楽など
の各種発表会などに利用されています。

第48回 Kyoto演劇フェスティバル〈公募公演〉参加申込書

① 団体名・参加希望部門等

2026年 月 日

団 体 名				
代 表 者	ふりがな氏 名		TEL	FAX
	住 所	〒	E-MAIL	
連 絡 先	ふりがな氏 名		TEL	FAX
	住 所	〒	E-MAIL	
参加 希望部門・ 可能日程 など	希望部門	☐ 一 般 部 門 ☐ 児童青少年部門		ジャンル 演 劇 人形劇 その他()
	希望会場	☐ ホール(定員419名) ☐ 三階和室(定員60名)		
	可能日程 複数チェック可	☐ 2月11日(祝) ☐ 2月13日(土) ☐ 2月14日(日)		
		各公演前日(夜間)の仕込み・リハーサルについて ☐ 対応可能 ☐ 対応不可 ☐ その他()		

② 作品概要

上演作品 について ※ 記入スペースが たりない場合は 別紙に追記して 提出してください。	作 品 名				予定 出演者数	予定 上演時間	予定 動員数
	作・脚 色	☐ 創作 ☐ 脚色 ☐ 既成			名	分	
	スタッフ	団体内に専属のスタッフが居られるなど、申込時に決まっている場合はお書きください。					
		演 出	舞台監督	照 明	音 響		
	作 品 の あらすじ						
	作品の ・見どころ ・特 色 ・工 夫						
	鑑賞対象 (複数チェック可)	☐ 未就学児童～小学校低学年 ☐ 小学校高学年～中学生 ☐ 高校生～一般成人					
上演に 向けての 抱負や 意気込み、 アピール等							

申込方法・締切

募集要項の記載内容に同意いただき、参加を希望される場合は、参加申込書に必要事項を記入の上、複写していただき、複写された申込書の写しに資料を添えて京都府立文化芸術会館内「Kyoto演劇フェスティバル事務局」までお申し込みください。なお、FAXや電話・メールによるお申し込みはご遠慮ください。 **締切／9月18日(金)※必着**

③ 団体概要等 ※記入スペースが足りない場合は別紙に追記して提出してください。

団体所在地			
創立年月日	年	月	日
構成メンバー	構成人数 氏名	名	
団体の概要 ・創立の経緯 ・現在の活動状況 ・今後の予定など			
主な稽古場			
過去の主な 公演実績 公演の内容がわかる資料 (チラシパンフなど)が あれば添付してくだ さい。	年	月	日 於
	年	月	日 於
	年	月	日 於
	年	月	日 於
	年	月	日 於
入場者数			
演劇フェスティバル参加歴	参加回数／ 回		

舞台イメージ ※別紙作成可			
演フェスで取り上げて欲しい企画や企画のアイデア (皆様の提案が次回以降の演フェスで実現するかもしれません)			

添付された資料にチェックを付けてください(□企画書等 □台本 □公演DVD等)
 ※オリジナル作品での参加をご予定で、台本がまだ完成していない場合は、企画書にできるだけ詳しく作品の内容をご記入ください。
 ※応募多数の場合は、申込書の記載内容や添付資料を参考に選考を行いますのでご注意ください。
 ※提出資料につきましては原則返却いたしません。